技術資料集

（臭気対策関係資料）

2023 年 5 月受信：小松　繁　氏　提供資料

技術資料一覧

（小松 繁 氏が保有する主として‘臭気対策関係技術資料）

１．基礎資料

１－（１）　温度換算表（℃→°F、°F→℃）
１－（２）　ギリシャ文字（α、β、γ、……　ω　24 種類）
１－（３）　嗅覚とにおい物質（その１）……報文（重田 芳廣）：臭気の研究 19 巻 1 号（通巻 77 号）昭和 63 年―においの分類、臭気物質の閾値、濃度と強度
１－（４）　嗅覚閾値測定結果（物質数：222）・・・永田、竹内：日環セ所報(1990)
１－（５）　低温度湿度図表（基準：全圧 760mmHg, 1kg-乾き空気）：1～120℃
１－（６）　水蒸気圧、飽和湿度、飽和エンタルピーの数値（全圧 760mmHg）：化学工学便覧 595 頁、表３・１
１－（７）　許容濃度の勧告（2010 年度）・・・産衛誌 52 巻,2010
１－（８）　耐油性・耐溶剤性・耐薬品性一覧表（プラスチック）

２．環境・臭気関係資料

２－（１）　環境関連法の体系
２－（２）　環境省の組織と業務（環境省機構図）
２－（３）　環境関連団体窓口一覧
２－（４）　臭気源と代表臭気種（消臭ニーズと対象臭気）・・・消臭加工準備委員会
２－（５）　工場・事業場における悪臭原因物質の排出状況
２－（６）　においの質の評価に用いた記述語
２－（７）　硫化水素について・・・フリー百科事典『ウィキペディア(Wikipedia)』：特徴、化学的性質、製法、用途、毒性、社会問題等、１～７頁
２－（８）　エタノールの物性値一覧表、安全性カード
２－（９）　所要換気量早見図表（建屋気積と換気回数による算出）
２－(10)　業種別の臭気強度と臭気指数の関係（全国自治体測定結果）
２－(11)　臭気の嗅覚測定法と嗅覚測定法の概論(追加資料)・・・平成 15 年度 臭気判定技術講習会：閾希釈倍数、OER、TOER,排ガスの流量測定等について
２－(12)　臭気対策検討用確認要望事項・・・サンプル
２－(13)　「におい」評価技術―報文（川元 しのぶ）：SCAS NEWS 2001-Ⅰ,p7～10
２－(14)　施設と臭い成分

３．悪臭の苦情・規制関係資料

３－（１）　悪臭苦情件数データの社会統計学的分析―片谷 教孝・重岡 久美子：環境システム研究論文集 Vol.31,2003 年 10 月、P179～188
３－（２）　悪臭防止法に基づく規制の概念（図）
３－（３）　特定悪臭物質の規制及び臭気強度と濃度の関係（単位：ppm）（表）
３－（４）　資料（昭和 56 年度官能試験法調査報告（抜粋）：昭和 57 年３月環境庁特殊公害課、P1～23

３－（５）　悪臭防止法改正の解説―山本 進一：設備と管理/1996 年 5 月号,p37～41
３－（６）　悪臭防止法に定める「臭気指数制度導入のすすめ」―環境省環境管理局
３－（７）　東京都における悪臭防止の新たな展開―寺田 正敏（東京都環境局環境改善部基準担当課長）：資源環境対策 Vol.38 No.2(2002),p5～10
３－（８）　東京都における２号規制基準設定の考え方―上野 広行、辰市 祐久、岩崎 好陽：臭気の研究、33 巻 2 号、平成 14 年、 p 15～21
３－（９）　東京都の環境確保条例における悪臭の規制基準について―片谷 教孝（山梨大学大学院工学研究科持続社会形成専攻）講演、p1～7
３－（10）　宮城県における臭気指数規制導入と今後の悪臭対策―赤坂 博幸（宮城県環境生活部環境対策課）：におい・かおり環境学会誌 35 巻 6 号、p24～27
３－（11）　松本市における臭気指数規制導入と臭気対策―塩原 明彦（松本市市民環境部環境保全課）：におい・かおり環境学会誌 35 巻 6 号、2004,p20～23
３－（12）　良好なかおり環境づくりのために ～臭気指数規制の導入～（松本市）：松本市市民環境部環境保全課 によるパンフレット（平成 15 年 3 月発行）
３－（13）　悪臭防止政策の変遷－臭気判定士制度制定に至る経緯――藤倉 まなみ（桜美林大学：におい・かおり環境学会誌 43 巻 6 号、2012,p408～414
３－（14）　悪臭公害のこれからの規制手法についての提案―岩崎 好陽（ 公益社団法人 におい・かおり環境協会）：におい・かおり環境学会誌 46 巻 3 号、p229～233

４．悪臭の測定関連資料

４－（１）　臭気測定法（測定法の分類：図）
４－（２）　臭気測定法の選択（目的に合った測定方法を選ぶ：フロー図）
４－（３）　悪臭成分の化学分析について―遠藤 良作、向後 鉄太郎、大宅 辰紀、菅原 直穀：北海道立衛生研究所、衛生研究所報 第 18 集、p162～170
４－（４）　特集「嗅覚測定法の現状と国際的動向」―臭気規制における嗅覚測定の位置付けと今後の課題（上河原 献二)、嗅覚測定法の精度管理および安全管理（重岡 久美子)、嗅覚測定法の国際的動向（岩崎 好陽）：資源環境対策 Vol.40 No.4(2004),p71～85
４－（５）　嗅覚測定法における安全管理―祐川 英基：三菱マテリアル資源開発㈱環境技術センター、大気環境学会誌 第 39 巻 第 4 号(2004),P87～94
４－（６）　簡易測定法の開発「二点比較式臭袋法を用いた低濃度臭気指数の測定」―畑野 和広：福岡市環境局環境政策部環境保全課、におい・かおり環境学会誌 41 巻 5 号 平成 22 年、p319～327

５．脱臭前処理（集塵）技術関連資料

５－（１）　汚れ空気の清浄化諸方式―化学工場 第 16 巻 第 9 号 ‘化学工場データ・シート、p98～99
５－（２）　ばい煙の拡散　「気温こう配と逆転層」、「煙の形と大気安定度」
５－（３）　粒子及び分散粒子の特性表（curtesy of Stanford Research Institute）
５－（４）　発生ばいじんの状態（粒子径と比率、濃度範囲等）

５－（５）　集塵装置と粉塵との関係―公害防止技術ハンドブック p673,日本経営出会
５－（６）　脱臭装置の前処理技術について―小松　繁：㈳臭気対策研究協会 臭気対策部会長、臭気対策セミナー講演要旨集、p87～96
５－（７）　苦情「有り」の場合の敷地境界における臭気指数測定値―「環境技術」より
５－（８）　タバコ煙の成分（表）―ガス成分（92%）、粒子成分（8%）それぞれの内訳
５－（９）　排ガス中のダスト粒径分布の測定方法―JIS K-0302(2007 確認)
５－(10)　空気浄化用エアフィルタの種類と変遷―武田 隼人：進和テック㈱、空気清浄 第 42 巻 第 5 号(2005),P4～15
５－(11)　湿式空気清浄機による大気中の放射性物質濃度低減に関する研究―矢嶌 健史(東京電力㈱)、土井 雄太(オルガノ㈱)、藤田 雅司(同)、山中 弘次(同)、中別府 修(明治大学理工学部)：電気評論 2014.6 ,P64～67
５－(12)　テラレットの集塵性能（１．Particle Diameter vs.collection Efficiency ２．NUCLEATION FOR PARTICULATE REMOVAL)

６．臭気対策関係資料

６－１）臭気対策技術全般

６－１)-(1)　防脱臭技術の最近の動向―小松　繁:三菱エンジニアリング㈱、環境技術、Vol.26 No.2(1997),p92～97
６－１)-(2)　最近の悪臭問題と対策―福山 丈二:大阪市立環境科学研究所環境資源課課長、講演要旨集、p3～16
６－１)-(3)　脱臭技術の動向―小松　繁：㈳におい・かおり環境協会 顧問、p1～6
６－１)-(4)　悪臭公害の現状,対策および一般環境のにおいレベル―増田 淳二：大阪市立環境科学研究所研究副主幹、科学と工業,84(11),p445～450(2010)
６－１)-(5)　環境保全のための脱臭技術の原理と特徴―村上 栄造：㈱朝日工業社、空気調和・衛生工学 第 86 巻 第 8 号(2012,p73～83
６－１)-(6)　脱臭方法の分類（図）

６－２）洗浄脱臭法

６－２)-(1) 洗浄法を中心とした脱臭システムの事例と方向―小松　繁:三菱樹脂エンジニアリング㈱、環境技術 Vol.9 No.7(1980),p576～584
６－２)-(2) 脱臭･消臭技術とその実施例(4)―小松　繁:三菱樹脂エンジニアリング㈱、空気調和・衛生工学 第 71 巻 第 9 号、(1997),p41～46
６－２)-(3) １ｲﾝﾁテラレットによる充填塔の標準性能―57 物質について、横型＝縦型
６－２)-(4)　横型２段式洗浄塔＋吸着塔 標準フローシート
６－２)-(5) 静止型混合器を利用した湿式廃ガス処理技術―小島 久夫：㈱ミューカンパニーリミテド、化学装置 1993 年 8 月号,p68～73
６－２)-(6) 次亜塩素酸ナトリウムを用いた洗浄・殺菌操作の理論と実際―福崎 智司：岡山県工業技術センター、調理食品と技術 Vol.16 No.1 (2010),p1～14
６－２)-(7) プラスチック製充填物の強度と寿命について―日鉄化工機㈱：ソーダと塩素・1981 年６号,p17～22

６－３）燃焼脱臭法

６-３)-(1)　燃焼法による悪臭の除去―末高　透：大阪府立大学工学部(教授),環境技術、Vol.2 No.5 (1973),p373～348

６-３)-(2) 触媒燃焼法を中心とした脱臭システムの事例と方向―上甲　聡:住友金属鉱山㈱化工機事業部(部長),環境技術,Vol.9 No.7 (1980),p592～598

６-３)-(3) 燃焼脱臭法の今後の展望―出雲 正矩：中外炉工業㈱,臭気の研究,32 巻 5 号 2001,p21～24

６-３)-(4) 蓄熱燃焼式脱臭装置―廣長 聰士：環境浄化技術 Vol.3 No.2 2004,p30～34

６-３)-(5) 省スペース型蓄熱式脱臭装置 CTO―井上　武：ロザイ工業㈱工業炉事業部,工業加熱 Vol.48,No.4 p14～19

６-３)-(6) TYPICAL RTO DESIGN　(図)

６－４）吸着脱臭法

６-４)-(1)　メチルメルカプタンガスの吸着除去に関する研究―棚田 成紀:徳島大学医学部公衆衛生学教室,四国公衛誌　第 19-2 号 1974,p57～75

６-４)-(2)　硫化水素ガスの吸着除去に関する研究「多孔性活性炭、ゼオライトによる気相での硫化水素の静的ならびに動的吸着特性―坊木 佳人：徳島大学医学部公衆衛生学教室、日衛誌　第 32 巻 第 3 号 1977 年、p482～492

６-４)-(3)　活性炭吸着方式による脱臭効果―樋浦 はるを：三菱樹脂株式会社 エンジニアリング部門、「産業と環境」Vol.11, No.3 1982,p45～48

６-４)-(4)　吸着法による悪臭対策：堂本 伸一(神鋼ファウドラー㈱環境装置事業部技術部)、桧山 和成(同),PPM―1987/5,p42～53

６-４)-(5)　複合系における脱臭装置の実際的設計法―桧山 和成(神鋼パンテック㈱),西田 耕之助(京都大学工学部),大迫 政浩(国立公衆衛生院),武藤 暢夫(関東学院大学工学部)：空気調和・衛生工学会論文集 No49,1992,p25～33

６-４)-(6)　集塵機能付き脱臭装置―池野 栄宣(新東工業㈱商品開発センター):産業機械　2009.9 ,p28～31

６-４)-(7)　吸着脱臭装置のランニングコスト削減への取組み―村上 栄造(㈱朝日工業社技術研究所)：産業と環境 2011.7 ,p81～84

７－４）食品製造工場・飲食店

７-４)-(1) 培養廃ガスの臭気対策について―江藤　博(ミウラ化学装置㈱):臭気対策セミナー講演集,p77～92

７-４)-(2)　PCF-光触媒脱臭装置による食品工場脱臭対策事例―宮川 博法：平成 23 年度 第１回臭気対策セミナー、p71～75

７-４)-(3)　オゾンによる「食品加工工場、飲食店舗の調理排気脱臭」―小阪 教由(東急車輛製造㈱)：空気清浄 第 46 巻第 3 号,2008,p38～44

７-４)-(4)　エビフライヤー排気用脱臭液の特徴と脱臭メカニズムについて―小松　繁(臭気対策アドバイザー：、某工場の検討書,p1～2

７-４)-(5)　凝縮を併用した光触媒法による高性能オイルミスト及び臭気成分除去―井上照雄(金沢大学大学院自然科学研究科、野口　裕史(トヨタ自動車

㈱、大西　元(金沢大学理工研究域機械工学系)、多田 幸生(同)、瀧本昭(同)：日本冷凍空気学会論文集 Vol.27,No.2(2010),p45～52
7－4)-(6) 食品製造工場における悪臭防止対策―小松　繁(三菱樹脂エンジニアリング㈱)：産業と環境,1985・12, p80～83
7－4)-(7) 食品製造工場における臭気発生実態とその脱臭対策―福山 丈二(大阪市立環境科学研究所)、増田 淳二(同)：FFI JOURNAL.No.165(1995),p31～47
7－4)-(8) コーヒー焙煎工場からの悪臭発生とその対策―増田 淳二(大阪市立環境科学研究所)、福山 丈二(同)、伊藤 尚夫(同)：環境技術 Vol.24 No.10 (1995)
7－4)-(9) 調理・厨房に係る臭気とその対策―小松　繁(㈳におい・かおり環境協会)：設備と管理/2003 年 9 月号,p2～8
7－4)-(10) 室内における調湿建材による調理臭の脱臭性能に関する検討―棚村 壽三(大同大学大学院工学研究科)、光田　恵(大同大学情報学部デザイン学科)、佐々木 寛篤(元大同大学大学院工学研究科)、小林 和幸(東京電力㈱)：におい・かおり環境学会誌,Vol.41, No.6 2010,p434～442
7－4)-(11) 飲食業の方のための「臭気対策マニュアル」―環境省水・大気環境局大気生活環境室：地域で愛されるための悪臭対策の事例集、p1～30

７－５）その他工場

7－5)-(1) ゴム工場の悪臭対策事例について―小松　繁(三菱樹脂エンジニアリング㈱)：臭気の研究 Vol.19 No.3(通巻 No.79)1988,p197～199
7－5)-(2) 臭気発生源と臭気の特徴（悪臭防止技術マニュアル、第２章　ゴム工業より）：p175～189
7－5)-(3) 化学工場の悪臭対策―近藤 英一(東亜合成化学工業㈱名古屋工場)：臭気対策セミナー講演集、p61～68
7－5)-(4) 砂型鋳造工場作業場内の臭気性・有害性化学物質―石川　紫(東京大学大学院 新領域創成科学研究所)、唐牛 聖文(埼玉県産業技術総合センター)、竹内 庸夫(埼玉県環境科学国際センター)、蓑毛 康太郎(同)、大塚 亘寿(同)、野尻 喜好(同)、柳沢 幸雄(東京大学大学院 新領域創成科学研究所)：大気環境学会誌 第 44 巻、第 3 号(2009),p167～173
7－5)-(5) シェルモールド鋳造時に発生する臭気物質の蓄熱燃焼装置による燃焼分解―飯島 伸介(新東工業㈱)、中山 勝也(同)、西村 育夫(同)、霜田 浩(㈱リケンキャステック)：鋳造工業　第 82 巻 第 1 号,2010,p29~37
7－5)-(6) 電気分解式脱臭装置による鋳造工場から発生する臭気の処理事例―大城宏康(特殊電極㈱)、永田 雄大(同)：エレクトロヒート No.181 2012,p35～39
7－5)-(7) クラフトパルプ工場の臭気対策について―古川 正信(十条製紙㈱)：紙パ技協誌　第 29 巻　第 8 号 1975 p18～26
7－5)-(8) 大昭和製紙鈴川工場の悪臭問題の歴史―白石 昌春(カリブー・パルプアンドペーパー社)、室伏　力(大昭和製紙㈱鈴川工場)：紙パ技協誌　第 34 巻 第 6 号,p15～21

７－６）生ごみ・廃棄物処理、リサイクル施設

７－６)-(1)　廃棄物処理に伴う臭気問題の現状と対策―大迫　政浩(国立公衆衛生院廃棄物工学部)：臭気対策セミナー講演資料集(1998 年 3 月 3,4 日),p20～33

７－６)-(2)　生ごみ処理機用脱臭機―柿本　元(日本デオドール㈱)：建築設備と配管工事　2007.7.　p88～90

７－６)-(3)　各種の生ごみ処理方法(表)

７－６)-(4)　生ごみ処理装置の改良に関する研究―竹本　稔(神奈川県農業総合研究所)、塚本　賀子(元東京工芸大学)、藤原　俊六郎(神奈川県農業総合研究所)：廃棄物学会論文誌,Vol.13,No.6　2002,p379～386

７－６)-(5)　有機性廃棄物の微生物処理過程におけるアンモニアおよびメチルメルカプタンの発生特性―大迫　政広(（独）国立環境研究所循環型社会形成推進・廃棄物研究センター)：廃棄物学会論文誌,　Vol.13,No.6,p70～78

７－６)-(6)　ごみ焼却施設の悪臭対策とその法規制―石川　禎昭：パシフィックコンサルタンツ㈱技術顧問：産業と環境　2006.12　p45～49

７－６)-(7)　ゴミ焼却炉における悪臭対策の一考察―飛鳥田　律之(三菱重工業㈱横浜造船所)：セミナー講演集？　,p1～11

７－６)-(8)　リサイクル時代の臭気問題―石黒　辰吉(㈳臭気対策研究協会副会長)：　環境新聞、1999 年 4 月 7 日、7 面

７－６)-(9)　塩ビ再生工場の臭気に関する研究―福山　丈二(大阪市立環境科学研究所環境工学科)、井上　善介(同)：臭気の研究　19 巻 3 号(通巻 79 号)1988,p161～162

７－６)-(10)　廃棄物リサイクル施設から発生する大気汚染物質―高橋　通正(神奈川県環境科学センター)、坂本　広美(同)：セミナー講演集？,p1～4

７－６)-(11)　リサイクル施設をめぐる臭気問題と対策技術―小松　繁：(㈳臭気対策研究協会専務理事)：資源環境対策　Vol.35　No.6　(1999),p68～73

７－６)-(12)　廃棄物リサイクル施設等における化学物質排出実態の解明―高橋　通正(神奈川県環境科学センター)、辻　祥代(同、調査研究部)、坂本　広美(神奈川県央地域県政総合センター)：神奈川県環境科学センター　報告（Note）より、p50～57

７－７）　廃水・下水処理場、ビルピット臭

７－７)-(1)　廃水処理装置の全体像―:「新・環境小辞典」(産業環境管理協会、1996 年)、p144

７－７)-(2)　下水道施設から発生する臭気性状（図）

７－７)-(3)　下水処理へのオゾンの利用―久保田　昌治(日立製作所日立研究所)、池本　徳郎(同国分工場)、西橋　淳一(同機電事業本部)、下里　興(同機電事業本部)：日立評論　Vol.61　No.3　(1979-3),p29～34

７－７)-(4)　水中に起因する臭気物質の閾値(データ集)―武藤　暢夫(関東学院大学教授)、岡田　誠之(同講師)：臭気の研究　13 巻 61 号　1984,p19～22

７－７)-(5)　重亜硫酸ソーダによる高濃度アセトアルデヒド除去システムの研究と下水汚泥処理設備の排気処理に応用した実例報告―中津山　憲(北端化成工業㈱)、高木 心平(同)、溝口 敏幸(㈱荏原製作所)、小西 和也(同)、塚本 敏男(同)、二見 賢一(同)：第16回におい・かおり環境学会/2003,p22～23
７－７)-(6)　水中から発散する臭気の現状―岡田 誠之(東北文化学園大学科学技術学部)：空気清浄 第49巻　第4号、2011,p67～71
７－７)-(7)　下水処理場における臭気対策の技術―佐野 勝美：におい・かおり環境学会誌　42巻 3号2011, p178～187
７－７)-(8)　東京都のビル街悪臭防止対策～全国初のビルピット臭気対策マニュアル～―東京都環境局環境改善部計画課基準担当:ちょうせい 第57号,2009, p27～30
７－７)-(9)　ビルピット臭気対策―樋口 幸弘(東京都管理局):設備と管理/2009年11月号, p39～44
７－７)-(10)　ビルピット排水に伴う臭気苦情への効率的対策に関する提案―深谷　渉(国土技術政策総合研究所),松宮 洋介(同),西尾 称英(管清工業㈱公共事業部)：下水道協会誌 Vol.47 No.569　2010/03, p99～105
7-７)-(11)　下水道におけるビルピット臭気問題とその解決法―深谷　渉(国土交通省国土技術政策総合研究所)：におい・かおり環境学会誌 Vol.42 No.3 2011, p188～194

７－８）室内環境

７－８)-(1)　建物内の臭気対策―小松　繁：㈳におい・かおり環境協会,全11頁
７－８)-(2)　建物内の臭気に関する評価と対策―光田　恵(大同工業大学)：講演集,p77～103
７－８)-(3)　建築環境と臭気問題―岡田 誠之(関東学院大学工学部)：環境技 Vol.20 No.5 (1991), p69～78
７－８)-(4)　住まいとにおい［１］―堀内 哲嗣郎(小川香料㈱)：臭気の研究 25巻3号 1994, p40～47
７－８)-(5)　臭気の発生とその対策―光田　恵(奈良女子大学):設備と管理/1996年5月号　p32～36
７－８)-(6)　ビルにおける森林浴空調システム―柿本　元(日本デオドール㈱)：設備と管理/1996年5月号, p43～46
７－８)-(7)　建築環境の臭気対策①～⑥（のうち特に④～⑥）―小松　繁：建築設備と配管工事 Vol.36. No.8～Vol.37. No.1
７－８)-(8)　「臭気簡易評価技術の活用に関する報告書」の紹介と室内空気質測定への適用について―小松　繁(㈳におい・かおり環境協会 顧問)：Environment and Building Services(ビルと環境) No.104 2004,3, p23～31
７－８)-(9)　住まいの中の困ったにおい！ その正体と解決方法―㈳臭気対策研究協会：小冊子、全10頁、執筆協力者→東原和成(東京大学),小峯裕己(千葉工業大学),岩橋尊嗣(新エポリオン㈱)

７－８)-(10)　室内環境向け脱臭方法の原理と特徴―村上 栄造(㈱朝日工業社 技術研究所)：空気清浄 第49巻第5号,2012, p69～79
７－８)-(11)　生活空間における消臭技術―北島 幸太郎(小林製薬㈱ 日用品事業部)：科学と工業　Vol.84,2010, p469～475
７－８)-(12)　ビル環境の脱臭・消臭処理システム―小松　繁(㈳臭気対策研究協会)：技術書「有害微生物管理技術(第Ⅱ巻)第2編 資料編」に執筆、p838～849
７－８)-(13)　高齢者施設の臭気対策―黒田　渉(㈱日本設計)：冷凍2009年４月号第84巻 第978号、p8～14
７－８)-(14)　ベッドサイドの臭気排除のための脱臭機の開発―中野 正博(産業医科大学),牧　孝(同),野田 信雄(国立長寿医療センター),松浦 弘幸(同)：バイオメディカル・ファジィ・システム学会誌　Vol.10 No.２　2008, p87～92
７－８)-(15)　トイレの臭気についての実態調査―武藤 暢夫(関東学院大学工学部),岡田 誠之(同)：臭気の研究　19巻6号(通巻82号), p35～39
７－８)-(16)　BSK 菌によるトイレの脱臭及び尿石剥離効果―久保田 豊秋：設備と管理/1999年12月号、p117～121
７－８)-(17)　駅トイレの臭気対策に関する研究(その１，その２)―潮木 知良((公財)鉄道総合技術研究所),川崎 たまみ(同),京谷　隆(同),早川 敏雄(同),亀田 暁子(東日本旅客鉄道㈱),坂本 圭司(同)：室内環境学会学術大会,2012年,p58～61
７－８)-(18)　生活環境内のごみ臭―大迫 政浩(国立公衆衛生院衛生工学部),光田恵(奈良女子大学),田中　勝、西田 耕之助(京都大学工学部)：生活と環境 Vol.37,No.1 ,1991, p67～73
７－８)-(19)　生ごみの処理と臭気防止について一大迫 政浩(国立公衆衛生院 廃棄物工学部),光田　恵(奈良女子大学大学院 家政学部)：臭気の研究　24 巻 3 号 1993, p48～53
７－８)-(20)　建築物から発生する廃棄物の処理実態と今後の課題―大迫 政浩：建築設備と配管工事　‘95.11, p51～60
７－８)-(21)　家庭における生ごみ臭の特性と制御―光田　恵(奈良女子大学大学院),磯田 憲生(奈良女子大学生活環境学部)：臭気の研究　26巻5号、1995, p11～20
７－８)-(22)　家庭用生ゴミ乾燥処理機―林田 幸雄(松下電器産業㈱),浅田 修司(同),富澤　猛(同)：臭気の研究 26巻 ２号、1995, p90～96
７－８)-(23)　生ごみ臭の臭気特性と制御に関する研究（第１報～第８報）―光田恵(奈良女子大学家政学部),磯田 憲生(同),久保 博子(同),大迫 正浩(国立公衆衛生院),西田 耕之助(京都大学工学部)：第7回臭気学会/1994.6

８．ＶＯＣの除去・脱臭関係資料

８－(1)　有機溶剤の性質(溶解性、比重、融点、沸点、蒸気圧)―表（１頁）

８－(2)　有機溶剤の物性（沸点、着火点、活性炭吸着指数、燃焼熱量、ガス比熱、爆発限界、触媒酸化開始温度・完全酸化温度、閾値）―表（A3, １頁）

８－(3)　主な有害ガス（ＶＯＣ）および悪臭指定物質の規制基準と活性炭による吸着保持量―東京都公害防止条例、北炭化成工業㈱：臭気の研究 Vol.39 No.6 2008 p395 の表
８－(4)　法律に基づく排出口の濃度規制を一揮発性有機化合物排出抑制検討会(環境省)：環境新聞 平成 15 年(2003 年)12 月 17 日 5 面に掲載
８－(5)　改正大気汚染防止法によるＶＯＣ排出抑制制度について一環境省環境管理局大気環境課：環境対策協議会第４回検討会 資料(パワーポイント資料)全 15 頁
８－(6)　ＶＯＣ排出抑制対策の動向―長谷川 敬洋(環境省大気環境課)：におい・かおり環境学会誌 35 巻 3 号 2004, p2～4
８－(7)　微生物を用いたＶＯＣの分解・除去技術―金川 貴博(（独）産業技術総合研究所)：セミナー講演集(2004 年９月２日),p72～84
８－(8)　オゾン/触媒によるＶＯＣ分解―酒井隆弘、野田清治、太田幸治、谷村泰宏、葛本昌樹（三菱電機㈱ 先端技術総合研究所　全員)：第 4 回 日本オゾン協会年次研究講演会、講演集(2004 年 6 月 24,25 日),p141～144
８－(9)　小規模事業所用脱臭システムの開発―青山　進(広島県立東部工業技術センター),山本　健(同),松浦　力(同),中濱 久雄(同、情報技術部)：広島県立東部工業技術センター研究報告　No.19 (2006),p30～33
８－(10)　ＶＯＣなど臭気対策の最新動向と課題（脱臭装置の特徴と今後の方向）―重岡 久美子(㈳におい・かおり環境協会 技術課)：産業と環境 2010.6 p69～73
８－(11)　リチウムイオン二次電池製造工程に関わるＶＯＣ処理技術「高性能ゼオライト吸着素子とＮＭＰ新規回収システム」―林　敏昭(東洋紡績㈱ 機能材開発研究所),杉浦　勉(同)：科学と工業 Vol.84(11),2010, p14～18
８－(12)　廃ガス・脱臭対策の実施例（その２）―金刺 博康(富士化水工業㈱)：塗装技術 1983 年 12 月号、p84～87
８－(13)　塗装工業と悪臭問題(中)―西田 耕之助(京都大学工学部)：産業と環境 88-10 p46～53
８－(14)　塗装工業と悪臭問題(下)―西田 耕之助(京都大学工学部)；産業と環境 88-11 P52～58
８－(15)　最近の環境配慮型塗料の動向―西村 幸男(㈳日本塗料工業会 常務理事)：産業と環境　2003.12 ,p20～22
８－(16)　塗料・塗装業界の環境問題と動向―西村 幸男(㈳日本塗料工業会)：におい・かおり環境学会誌 35 巻 3 号　2004, p5～７
８－(17)　塗装工程における臭気対策の現状と今後の課題―重岡 久美子(㈳におい・かおり環境協会 技術課)：塗装技術 2008 年　7 月号,p73～76
８－(18)　生物脱臭装置を用いた塗料排気に含まれる混合ＶＯＣの処理―森田 康敬(立命館大学大学院 理工学研究科)、港　良介(同)、樋口 能士(立命館大学 理工学部)、中島　淳(同)：におい・かおり環境学会誌 42 巻 2 号 2011,p145～153
８－(19)　印刷企業の現状と対策―田中　勇(㈳日本印刷産業連合会)：臭気の研究　24 巻 6 号 1993, p24～31

８－(20)　印刷産業界におけるＶＯＣ排出抑制に関する取り組み等について―㈳日本印刷産業連合会：ＧＰJAPAN 2003.11 ,p17～28
８－(21)　印刷インキのできるまで(図)―㈳日本印刷産業連合会：ＧＰJAPAN 2003.12
８－(22)　ＶＯＣ排出抑制に関する取組等について―印刷インキ工業連合会：ＧＰJAPAN 2003.12, p11～18
８－(23)　悪臭苦情の実態、規制の方向および対応策事例―小松　繁：㈳におい・かおり環境協会 顧問、講演集(関東グラビア協同組合総会)、2003.5.21,全23頁
８－(24)　グラビア印刷におけるＶＯＣ排出抑制対策―田口　薫(大日本パックェージ株式会社)：におい・かおり環境学会誌　35巻3号,2004, p11～14
８－(25)　酸化チタン光触媒を用いたオフセット印刷用ＰＳ版―村上 武利(㈶神奈川科学技術アカデミー)、中田 一弥(同)：におい・かおり環境学会誌　40 巻 2 号、2009, p101～108
８－(26)　粘着テープ用基材乾燥炉の熱源変更および蓄熱式脱臭炉導入等の省エネルギーＥＳＣＯ事業―シノムラ化学工業㈱、三菱ＵＦＪリース㈱：月刊「省エネルギー」Vol.61 No.4 2009, p29～32
８－(27)　印刷産業のＶＯＣ排出抑制対策―油井 喜春：産業と環境 2011,12,p73～76
８－(28)　脱臭・ＶＯＣ対策に利用される吸着装置・燃焼装置の適用上の留意点―村上 栄造：産業と環境 2011.12, p67～72

匂い、香料等に関する資料

（１）快適な環境とニオイ―浜渦 良男(高砂香料工業㈱マーケティング部)：生活と環境 Vol.32,No.6, 1987, p53～58
（２）香りの東西今昔―川上 智子(きゃら香房㈱代表取締役)：専門誌に投稿「香り、匂い」(香りと人間の歴史を振り返る),p3～5
（３）現代“におい”事情―鈴木　隆(高砂香料工業㈱)：上記と同じ。「体臭と上手に付き合うために」、p6～7
（４）かおり・においの将来を「聞く」―高橋 達男(環境庁大気保全局大気生活環境室)：上記と同じ。「行政サイドから」,p8～9
（５）おしゃれ香り学（森田 洋子著)、日本ポプリ協会会長・エコールドパルフアン(香りの学校)学長：全229頁、より
　２．香料の分類
　４．気になる臭い
　６．上手な香水の近い方
（６）生理・心理とにおい―小松　繁(纏め)(㈳臭気対策研究協会)：主な内容・・・
　１．はじめに（p1）
　２．においと生命、生理的・心理的効果（p2）
　３．におの役割・効用（p3～7）
　４．森林浴について(p8～10)

資料類：資料―１；フィトンチッド、アロマテラピー、アロマコロジー、アロマ療法剤とその主な機能、生体計測法

資料―２：匂いと性

資料―３：においを表現する言葉

資料―４：最近の芳香剤のアイテム名

（７）いいにおい、不快なにおい一吉田 倫幸(通商産業省工業技術院産業科学技術研究開発室)：月刊下水道　Vol.19 No.3, p22～23

（８）香料のにおいと脱臭方法について一小松　繁(㈳におい・かおり環境協会 顧問)：講演要旨集より抜粋・・・香料工場の脱臭について。香料臭の脱臭試験例。室内臭の吸着脱臭試験報告

以　上